

エントリーカード（企業用）

① 社名 (担当部署)	松蔭高等学校			
② 連絡先	TEL	078-861-1105	メール アドレス	s.office-info@shoin-jhs.ac.jp
③ 社会貢献 活動分野	まちづくり、環境保全、国際交流、災害支援、○社会教育、 生活支援			

④ 活動内容

<各店舗に高校生が協力依頼をよびかけた TAP プロジェクト>	
<p>松蔭高校では2000年からBlue Earth Projectを実施しています。Blue Earth Projectとは、女子力を生かして社会をデザインしていくプロジェクト学習です。神戸の松蔭高校で生まれ、今では、沖縄琉球、横浜、仙台、名古屋の高校に広がり、100人以上の女子高生が取り組んでいます。OECD（経済開発協力機構）と文部科学省がこれからの日本の教育に向けて立ち上げた「OECD日本イノベーション教育ネットワーク」にも、Blue Earth Clusterとして認可されています。</p> <p>いくつかの取り組みの中で、TAPプロジェクトを紹介します。3月22日は国連が定めた「世界水の日」です。この日を含む期間中、プロジェクトに参加するレストランやカフェで、給仕される無料のお水に任意の代金を支払うと、それがユニセフへの募金となり、きれいで安全な水が手に入りにくい地域での支援に使われます。テーブルに用意されたカードの上に、チップの感覚で任意のお金を置いていく。募金箱を使って募金をすることも可能です。ユニセフではこの趣旨に賛同するシェフやオーナーの協力のもと、関西エリアを代表するレストランやカフェに参加を依頼しています。神戸・梅田・西宮地域では、次代を担う当校の学生たちが、各店舗を個別訪問して、TAPプロジェクトへの協力を依頼やプロジェクトの啓発イベントをして、TAPプロジェクトを広めました。学生達が1ヶ月かけて、310店舗から協力依頼を集めることができました。</p>	
ホーム ページ	http://www.shoin-jhs.ac.jp/nextstage/social/index.html#2012

⑤ 社会貢献活動への思い

<p>現在の日本の教育において、社会との積極的な関わりをもつ機会が極めて少なく、インプットはできていても、アウトプットの教育機会が少ないのが現状です。もっと、長期にわたって、社会や世界に対しての明確な問題意識を持って、生徒が自主的・継続的に世の中の人に、社会の中での思いを伝えていくことで、高校生でも社会を変えられるという体験を持たせたい。この達成感を通して、社会の中での自分の役割や意義を実感し、責任ある社会人として生きていくことへの自身やチャレンジ精神も養うことをめざしています。将来の企業の社会貢献活動の担い手となってくれると信じています。</p>

⑥ 効果、そして今後に向けて

実際の社会人とともに活動する機会も設けることで、社会を生きていくうえでのノウハウも吸収することができました。当校のみならず県下、全国的規模でこのような活動ができるような組織があると良いと思います。

【学生達の声】

- 店への説明で、プレゼンにも慣れてきて、店の方も真剣に聞いてくれるようになっていきました。こうしたらお店の人が聞いてくれるよ、とアドバイスもしていただきました。プレゼンのための工夫や、手作りの説明アイテムも活用するようになりました。
- 「そんなことしても何も変わらない」と言われるなど厳しい反応に、涙するほどのこともあったけれど、めげずに真剣に話せば、思いが通じることも多いことがわかりました。
- 今地球で起こっている様々な問題と、それが自分たちと関係していることを学び、人にも自然にもやさしい世界を取り戻すために、課題解決に貢献できる身近なアクションを自分たちで考える良い機会になりました。社会に出て行って啓発活動をしつつ、社会をプロデュースしていきます。
- 社会の中で失敗や挫折を味わいながら仲間との絆、社会の人たち達との繋がりを大切にし成し遂げられました。

【企業側の声】

この活動に関わった多くの企業からは、高校生の社会に向けての純粋な真摯な発想や姿勢を見て、従業員自身が初心に戻れた、人事課からはこのような活動に参画することで従業員の再教育にも繋がったとの評価を得ています。

松蔭高校とは別に、高校時代に Blue Earth Project を体験した大学生が NPO Blue Earth Project を立ち上げました。 → <http://www.bepbep.net/>